

小屋はとれても、心はとれない



日刊 労働千葉

83. 9. 7

No. 1437

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二二二七二〇七

9.4北富士 全 集会開かせる

九月四日、北富士の梨ヶ原現地において、北富士忍草母の会の主催のもと「日米共同演習粉碎・東富士軍用道路阻止9・4北富士全国総決起集会」が開かれました。集会には忍草入会組合の農民をはじめ、動労千葉から二〇名、三里塚芝山連合空港反対同盟、そして各地の労働者、学生など一三〇〇名が参加し、富士を朝鮮、中東、中南米につなげさせないためにも入会地を奪回し、北富士と三里塚に勝利し、中曽根を打倒することを誓い合いました。

今日から決戦 — 天野事務局長が檄 —

山梨県警は八月十九日、政府・防衛庁当局の意をくんだ甲府地裁・三井裁判官の手をかりて、母の会のお母さん達が、十一年間一日も欠かさず泊りこみ、守りぬいてきた入会地監視小屋を強制撤去するという暴挙をはたらきました。

これは、あくまでも東富士軍用道路を建設し、北富士での日米共同演習を強行しようとする政府・防衛庁当局のあせりかられた蛮行であります。

北富士農民の天をもつく怒りを示すかのように、富士のすそ野、梨ヶ原の集会場には「非理法権天」「全山わが城、萬沢わが壘」と書かれた大のぼりがはためくなか、天野美恵事務局長の、「十一年間守り続けた小屋を破壊した山梨県警は絶対に許せない。今日から忍草の決戦の日だ。戦争への道を許さない闘いを私達と一緒に闘ってほしい」との檄で集会は始まりました。

まず、渡辺行動隊長（入会組合副組合長）と渡辺喜美江母の会会長がたち、「小屋をとられても心の小屋はとられない。今日を期して決戦に突入する。反動中曽根を打倒しよう」との決意が表明され、続いて連帯のあいさつに移りました。

東京実行委員会の長谷川、石田両氏、関西実行委員会の山本、安藤両氏、日本婦人会議の小川さん、沖繩民権の会の古波津氏、部落解放同盟長野県連三地区協青年部代表からそれぞれ、入会小屋の強制撤去に対する怒りと、三里塚10・9に総決起しようとの決意が表明されました。とりわけ、反戦自衛官の小多氏は「演習は農民と闘う人民に銃をむけることだ。人間として生きる権利を望むなら、労働者の立場にたつて闘いにたちあがる」と、基地防衛にかりだされた自衛隊兵士にむかって呼びかけました。

辛酸佳境に入る精神で闘えば必ず勝利する
— 天野入会組合長が決意表明 —

特別アピールは、三里塚芝山連合空港反対同盟の北原事務局長、郡司婦人行動隊長、島村初江敷地内農民、宮本行動隊長、清宮青行隊隊長が壇上に並び、「戦争にか



（動労千葉の決意をのべる 吉岡組織部長）

動労千葉の吉岡組織部長は、「8・19の小屋撤去は軍事大国化・改憲にむけた突破口だ。動労千葉は、10・5・6第八回定期大会を81・3を上回る闘いの出発点として成功させたい。なによりも、10・9へ圧倒的労働者部隊を登場させ、右傾化を阻止し、三里塚と北富士の勝利、中曽根打倒を実現する」との決意を表明しました。

集会は最後に、天野重知入会組合長がたち、「忍草の闘いは降服か闘いかの二者択一だ。今日、梨ヶ原において天地をゆるがす大戦争を宣言する。勝利は我が手にある。条件ととのえは闘い、そわねば生産に励む。これがゲリラの真すいだ。十年の闘いで得たものは辛酸佳境に入る根性だ。これは偉大な力である。忍草の根性は富士山、何万本の木は友軍、石は弾丸だ。北富士は必ず勝利する」とのすさまじい気迫こもる決意をうけた後、富士吉田市内をデモ行進し、十八時に終了しました。

